

腰痛は跡形も無く消え去り、ノミの市に行った。もう何回も来ているのでどのエリアに何があるかは心得ているから、効率が良い。息子は自分の興味の本を何点も買い込む。当然定価などある訳はなく、相対の交渉で価格は決まる。

値段交渉は私の得意課目だ。まず1/5位からスタートする。ここは実はそうは吹っかけていない。ある交渉では、ラストプライス、相手が160元、こちらが150元で暗礁に乗り上げた。「たった10元じゃないか、そのくらい出せ。」と言うのを逆手に取って「たった10元じゃないか。そのくらいまけろ。」と言っても聞かない。しょうがないので「OK,OK」と言って150元を渡してきた。値段を決めてから少なく渡すのもコツだ。



ノミの市



ノミの市の中の飯屋で昼飯を食う。うどんと米粉と餃子とビールを頼んだ。うどんと餃子は直ぐに出てきた。餃子の分量に驚いた。

食べきれない。そして、米粉はなかなか出てこない。

3回催促しても「お待ち下さい。」と言うばかり。「もう遅いから要らない。取り消せ。」で取り消し出来た。

ビール込みで2人で44元(600円程度)だった。

その後、ショッピングセンターに行く。ここは日本人客が多いので、吹っかけ方が半端ではない。ここでは相手に金額を聞かないのがコツだ。こちらから相当低めの金額を言う。そして粘る。最後は金を渡して品物を持って立ち去る。追いかけてこなければ成功だ。



荷物が増えたので一旦、ホテルに戻って休息する。

その後、書店を散策、なんだか足が疲れて来たので、「上島珈琲」に入ってお茶を飲む、高いのでびっくりした。最高級コーヒーは200元(2,400円)もする。普通のお茶でも一杯40元、中国の物価水準ではかなり高額だ。40元あればビールが1ダース買える。何でもビールの価格を基準に考えるのが私のスタンダードだ。

夜は待望の「羊のシャブシャブ」だ。別の5つ星のホテル内の高級店で食べる。美味かった。そして値段は安かった。帰りに息子が飲みたいと言うので、ワインを買った。途中ではっと気が付いた。ワインオープナーが無い。ホテルのバーに行ってバーテンに開けてもらった。

部屋に戻り、ビールを飲みながら日記を書き始める。2本目を開けたとたん旧友から電話が入る。この人はたまたま北京に出張で来ている。またカラオケスナックへ繰り出した。ご帰還は0時近くになった。